

育児と仕事の「自分らしい両立」を考える従業員交流イベントを開催 全国の従業員がオンラインでつながり、悩みや工夫を共有。自分らしい両立のヒントを得る機会に

アルティウスリンク株式会社(以下、当社)は、未就学児を育てながら働く従業員を対象としたオンライン交流イベントを開催しました。本イベントは、育児と仕事の両立に向き合う従業員同士が、日々の悩みや工夫、キャリアに対する考えなどを共有し、自分らしい両立のヒントを得ることを目的に実施したものです。

当日は、全国の拠点で働くさまざまな職種・立場の従業員が参加し、育児と仕事をめぐる経験や悩み、キャリアに対する考えなどについて意見交換を行いました。



育休復職後も続く両立の悩みに寄り添うために—イベント開催の背景

当社では、多様な人材がそれぞれの能力を発揮しながら活躍できる環境づくりの一環として、DE&I を推進しています。これまでに実施してきた育休復職者向け交流イベントでは、参加者から同じ境遇にある従業員同士で話せる機会を求める声が寄せられていました。さらに、育児と仕事の両立に関する悩みや工夫は復職直後だけでなく、子どもの成長や働き方、キャリアの変化に合わせて変わり続けるものでもあります。

そのため、制度や情報を提供するだけでなく、従業員同士が経験や知見を共有し、互いの経験から学び合える機会の創出に、継続的に取り組むこととしました。今回は、その取り組みの第 1 弾として、未就学児を育てながら働く従業員を対象とした交流イベントを実施しました。

全国の従業員 38 名がオンラインで参加し、悩みや工夫を共有

本イベントには、全国の拠点で働く未就学児を育てる従業員 38 名が参加しました。オペレーション、営業、IT、人事、バックオフィスなどさまざまな部門から、性別や役職を問わず幅広い従業員がオンラインで集い、育児と仕事の両立について意見交換を行いました。

参加者同士がより共通点を見つけやすく、実践的な情報交換ができるよう、テーマに応じてグループを編成し、2 回のグループトークを実施。1 回目は、子どもの年齢や家庭環境など、ライフステージの近い従業員同士でグループを構成し、育児や家事と仕事の両立における悩みや工夫を共有しました。2 回目は、業務内容や働き方の近い従業員同士でグループを構成し、職場での工夫やキャリアとの向き合い方について意見交換を行いました。



グループトークでは、子どもの体調不良への対応や時短勤務終了後への不安、テレワークの活用、パートナーとの役割分担、キャリア形成との両立など、日々の仕事と育児のなかで直面するさまざまなテーマについて活発な対話が行われました。

アンケートから見た両立に関する課題と気づき

イベント後のアンケートでは、「同じ経験を持つ従業員とのつながりを持てた」「両立の工夫や事例を知ることができた」「自身の悩みや状況を共有できた」などの回答が多く寄せられました。

一方で、

- キャリア形成と育児の両立への不安
- 職場や業務による働き方の違い
- 上司や周囲の理解の重要性
- ロールモデルの不足

など、仕事と育児を両立していくうえでの課題も共有されました。

アンケートでは、「働き方や環境が変わったときに今のように両立できるか不安」「周囲の理解や柔軟な働き方が重要だと感じた」といった声も寄せられており、従業員同士が経験や悩みを共有する場の意義がうかがえる結果となりました。

誰もが働き続けられる環境づくりに向けて

誰もが働きやすい環境づくりのためには、従業員一人ひとりが置かれている環境や価値観に応じて、自分らしい働き方を見つけていくことが大切だと考えています。全国に拠点を持ち、多様な職種・働き方の従業員が活躍する当社では、制度や仕組みの整備に加え、従業員同士が経験や悩みを共有し、お互いの工夫からヒントを得られる機会づくりにも取り組んでいます。今回のイベントで寄せられた声や気づきは、今後の交流施策やコミュニティ形成、復職者支援、管理職向けの理解促進施策などにも活かしていく予定です。

当社は今後も、子育て中の従業員をはじめ、さまざまなライフイベントや事情を抱える従業員が、それぞれの状況に合わせて働き続けながら成長・活躍できる環境づくりに取り組んでいきます。

◎関連情報

- アルティウスリンク育児との両立支援についての取り組み

<https://www.altius-link.com/sustainability/social/workstyle/#child>

・ 本リリース本文中の製品名および会社名等は、各社の商標または登録商標です。